

令和7年度 第1回 地域連携推進会議 議事録

日時：令和7年 12月 16日（月）

時間：15：00～16：30

場所：トレジャーハウス仁川

参加者：入居者2名、入居者家族1名、地域関係者2名、事業所職員2名 合計7名

会議内容

1, 施設運営およびサービスの質の確保について

施設内では、利用者が安心して生活できる環境づくりを基本とし、職員のスキル向上に日々取り組んでいることを報告しました。

今年6月に伊丹市で男性棟を開設したこと、

また、災害等に備えたBCP（事業継続計画）については平常時から備品の確保や対応体制の確認を行っていることを共有しました。

2, 利用者の状況および日常生活について

利用者は日中、作業所等へ通所しており休みの日には外出し、お祭りやイベント、子ども食堂のボランティアなどにも積極的に参加するなど、地域の中で日常生活を送られている状況を報告しました。

3, 地域との連携について

医療機関、行政、相談支援事業所等との連携状況について報告しました。

現時点では限られた関わりではあるものの、今後は地域行事への参加や交流の機会を増やし、利用者が地域の一員として安心して暮らせる環境づくりを進めていく方向性を確認しました。

4, 虐待防止および苦情対応について

日ごろの関わりや声掛け一つに注意し、利用者が安心して生活できるよう、虐待防止に取り組んでいます。また外部研修にも積極的に参加し、知識やスキルの向上を図っています。

さらに、近隣との関係についても日常的な挨拶や配慮を行い、良好な関係を保っています。

5、意見交換

意見交換では入居者のご家族から「グループホームに入居してから、生活面や表情が大きく変わった」「以前と比べて落ち着きが見られ、とても良くなったと感じている」「世話人の支援の中で育ててもらっていると実感している」といった前向きな声が聞かれました。

また、参加者からは、男性棟が短期間で満床となったことについて、安定した運営が評価されて、素晴らしいとの声をいただきました。

近隣の方への挨拶の大切さを利用者の方にわかりやすく丁寧に伝えていただきました。

さらに会議に参加された社会福祉協議会の職員から、地域とのかかわりを持ちやすくするために、地域の民生委員を紹介させていただきますと発言がありました。

6、施設案内

開催場所である仁川ホームの共有スペースや利用者の居室を案内しました。

7、今後に向けて

今回の会議を通じて、当事業所の支援内容や運営状況について一定の評価をいただくとともに、地域との連携をさらに深めていく必要性を再確認しました。

今後も利用者が地域の中で安心して生活できるよう、関係機関と連携を図りながら、地域に開かれたグループホーム運営を継続してまいります。